

4月 ひなぎくだより



暖かく気持ちのよいばかりか陽気と共に、新学期が始まりました。

お家の人に「いってきます」をして、初めての幼稚園生活です♪ 初めは不安だった3人ですが、徐々に表情も和らいできました。慣らし保育が終わり、通常保育が始まると、戸惑いや不安感も出てくるかもしれません。幼稚園で安心して過ごせるよう、保護者の皆様とともに見守っていただけたらと思います。

はじめまして

ひなぎくグループの担当をします、加瀬悠華です。

音楽が好きで、歌をうたったり、ギターやウクレレを弾きます♪ 時々、釣りにも行っています🎣
最近はお家のDIYにはまっていて、ホームセンターへ通っています♪



にじグループの
お友だちが
遊んでくれます

須磨浦水産さんに船を見せてもらいました。魚のタッチプールでは後ずさりする
ひなぎくグループさん…(笑)
食卓やスーパーでは切られた魚を見ること
が多いと思います。本物の魚に触れる良い
機会でした。



子どもたちへの願い

【自己肯定感】【自己否定感】という言葉をご存知でしょうか。文字の通り、『自分が好きだ。自分はありのままでいいんだ。』と感じることを自己肯定感、『自分はダメな人間だ。自分には価値がない。』と感じることを自己否定感といいます。千鳥幼稚園では、自己肯定感を育む保育を大切にしています。そのために、私たち保育者は、一人ひとりの『ありのままを受け入れる』ことを大切にしています。何かが出来るから好きなんじゃない、上手にできるから価値があるんじゃない、どんなあなたでもいいんだよ、と伝え続けています。自己肯定感が育まれ、深く深く心の根っこを張った子どもは、どんなに強い風が吹いても倒れず、大きく強く伸びていきます。

『子どもたちよ 子ども時代をしっかりとのしんでください。おとなになってから 老人になってから あなたを支えてくれるのは 子ども時代のあなたです。』

児童作家 石井桃子さんの言葉です。これから、幼稚園でたくさん遊んで、楽しんで、様々なことを友だちや先生と共に経験して欲しいと思っています。